

神戸新聞に載りました！

(H28.6.1)

木の枝に産み付けられたモリアオガエルの卵塊。市川町上牛尾



モリアオガエル産卵

市川町の池 週末以降にふ化

モリアオガエルが、市川町上牛尾の温泉施設「天然かさがた温泉せせらぎの湯」敷地内で産卵期を迎えている。池のほとりの木に白い卵塊約20個があり、枝を揺らしている。モリアオガエルは白

本の固有種で体長4〜8センチ。県のレッドデータブックで絶滅の危険度が増している。ブランクに位置付けられる。5〜6月の雨の降った夜に産卵することが多い。直径10〜20センチの泡の塊を作り、その中

には100個以上の卵があるという。7〜10日ほどでふ化し、池に落下して泳ぎ始める。

同施設の前田宣博支配人は「週末から来週にかけてふ化すると思われる。出てくるまで見守ってあげたい」と話している。

同施設は無休。午前10時〜午後8時。同施設 ☎0790・27・1919

無事にカエルになれるといいね♪

神戸新聞

(第3種郵便物認可)

モリアオガエル 卵塊いくつ？

「せせらぎの湯」来場者にクイズ

市川町上牛尾の温泉施設「天然かさがた温泉せせらぎの湯」で、来場者に、一風変わったクイズが出題されている。お題は、カエルの卵塊の数当て。敷地内の滝つぼと小池のほとりで、約1カ月間に何個見つかるかを予想する。正解者は地元産のコシヒカリが最大30%もらえる。前田宣博支配人(56)は「遊びを通じて、自然と施設への関心を高めてほしい」と話す。(井上太郎)

市川

16日まで1カ月分 自然への関心高めて

同施設は関西百名山の芳形山のふもとに位置。駐車場付近の水辺では、梅雨が近づくと足元や頭上の木の枝に、モリアオガエルが白い卵塊を産み付ける。卵を包む泡は直径10〜20センチ。ふ化したオタマジャクシが水面に落ちると、池の上に突き出した枝によく付く。モリアオガエルは温暖な淡路島を除いて県内に広く分布するが、県のレッドデータブックでは、絶滅の危険が増している。ブランクに指定。せせらぎの湯は約1年半前に駐車場の拡張で池を進め立てる際、端を一部残して水上に枝を残し、産卵場所を設けている。

今年5月20日ごろに最初の卵塊を確認。月替わりで米俵の重さ出くなど企画してきた同施設は卵塊数をクイズにしてみたいと、「過去4題中、断トツで応募数が多い」という。卵塊の集計期間は5月21〜6月16日までの約1カ月間。卵は2週間ほどでふ化する。

昨年あった卵塊の数を聞かれても答えられない方針。温



白い卵塊(右奥の茂み下部)を指さし、クイズへの参加を呼び掛ける前田さん=いずれも市川町上牛尾



モリアオガエルと、白い卵塊

令和元年6月4日(火) 神戸新聞に掲載されました